

# よいた

昭和47年3月10日 ■発行／与板町（代表者与板町長川上文平） ■編集 与板町だより編集委員会



四  
上  
卷  
第  
四  
期  
四  
月  
八  
日  
印

おだいりさまや、おひなさま……  
みんなうたをうたいながらもいつしようけんめい

あかりをつけましょほんぼりに、お花をあげましょももの花、五人ばやしのふえたいこ…………  
三日はひな祭、五日は啓蟄、そして二十日は春分の日、こよみの上では春はすでに、やつてきたはずなのに……。  
3月にはいつて降らないと思っていた雪。冬眠からさめた虫たちが、やわらいだ土のとびらを押しあげて出てきた  
のに、また寒さのまいもどり、はやく春がこないかな——。  
たんぽぽ、すみれ、うめ、さくら、つばき、すいせん、ふくじゅそう、もも、雪割草、つくし、ふきのとう、かい  
どう、ちんちようげ、やなぎ、ヒヤシンス、フリージャ……どことなく春の足音がかすかに聞えませんか。

人 口 の 動 き	
2月29日現在	
( ) は 1月末との比較	
人 口	8,034人 (+ 8人)
男	3,902人 (+ 7人)
女	4,132人 (+ 1人)
世 帯	1,808 (- 1 )
-----	-----
出生	13人 死亡 4人
転入	6人 転出 7人

春の全国交通安全運動	輝く優秀賞	2
春の火災予防週間	与板小、団体賞を	3
町民スキーの集い	楽しかつた	3
でんでんコーナー	校長先生から励まし	3
赤十字社員加入のお願い	町民の声	5
与板の歴史をたずねて	赤十字社員加入のお願い	4
保健衛生だより	町民の声	6
おしらせ	与板小、団体賞を	6

おもな内容は

よいた町だより 47. 3. 10 発行

# 保健律生 たより

3月13日(月) 赤ちゃん検診	対象者	13時30分～15時 S46.4.2～S46.9.30出生児
3月15日(水) 3才児検診	対象者	13時30分～15時 S43.4.2～S43.9.30出生児
4月4日(火) 生ボリオ	対象者	13時30分～15時 S46.6.1～S46.12.31出生児
4月7日(金) 一般相談	対象者	13時30分～15時 一般
4月8日(土) 妊婦検診	対象者	13時30分～15時 一般
4月日時未定 新婚・婚前学級		

先に農耕用軽油免稅の申請を行なわれた農家のみなさんへ  
三月十七日役場二階において免稅証の交付をおこないます  
ので、申請書にお使いになられた印かんを持参のうえ、  
御参集ください。



住宅関係融資制度の

融資制度の

## 住宅関係融資制度の 説明会開催

イ ウ エ  
金貸付け 中高層耐火建設資金貸付け  
土地担保賃貸住宅建設 資金貸付け  
その他の貸付け  
(個人住宅建設、住宅  
改良資金など)

## 、危険物収集 (予定) の 部変更について

月

行政相談日です

区分	バックマスター車		ダンプ車	
	9:00~11:30	13:00~16:00	9:00~11:30	13:00~16:00
	ごみ収集	ごみ収集	危険物収集	危険物収集
月曜日	馬場町、泉町、長町 下町、駅前	堂前中島町（東与板 部）、五軒町、水道 町、中川岸	原、結荷町、下横町 北新町、南新町 堂前中島町（田舎前）	横原、山沢、中田 南中、吉津、広野 馬部
火曜日	舟戸、安永、諏訪路 横町（片町除く）	堤下、柳之町、倉谷 山沢（町営住宅部）	中町、上町、横町 (片町部)	本与板、馬越 岩方
水曜日	本与板、馬越、岩方 桜原、山沢（町営住 宅除く）	萬都、広野、吉津 南中、中田	危 險 物	堤下、横町 諏訪路、安永 上川岸、舟 戸
木曜日	月曜日と同じ	月曜日と同じ	月曜日と同じ	堂前中島町、水道町 五軒町、中川岸
金曜日	火曜日と同じ	火曜日と同じ	火曜日と同じ	未収集町内の収集
土曜日	未収集町内の収集 (車整備)		未収集町内の収集 (車整備)	



## 巣立つ子等よ健やかに

与板小学校長 当銀敏雄



返つてみたい。  
・四十一年。入学。黒川小と  
の学校統合。県体育研究校  
に指定された年であった。

・四十二年。待望の打球。  
清風園が完成。発表会を開催し、体育学習の成

果を公開した。

巣立つ子等は、「い  
ぐくまれ、みるく素直な  
子どもたちであった。ここに  
この子等の成長の姿を、六年  
間の学校の歩みとともに振り  
われた。体育学習の中

間

今年もまた、百十五名の子  
どもが、小学校を巣立つて、  
かしら一抹の淋しさといい知  
れぬ感概におそれるのであ  
る。そして生徒たちの前途に  
ついていろいろと思いを馳せ  
る。この三月に卒業する生徒は

卒業生を送るにあたつて

与板中学校長 金子信夫

今年もまた卒業生を送る日  
が近づいて来た。毎年のこと  
ながらこの時期になると、何  
かしら一抹の淋しさといい知  
れぬ感概におそれるのであ  
る。そして生徒たちの前途に  
ついていろいろと思いを馳せ  
る。この三月に卒業する生徒は

一五四名でその入学式  
の時私は次の三つのこ  
とを強調した。すなわ  
ち。計画を立てて真剣  
に勉強する。  
。よい友達を見つけ  
て友情を育てる。  
。自分の長所を見出していく  
それを伸ばす。

あれから三年の  
月日が過ぎたいま、生徒たちはど  
うにこれを受けとめて実現に努  
めようと、期待と不安の入りまじつ  
た気持である。



卒業へ  
へ  
校長先生より励まし

から最後までおのれを棄てな  
い根性を学びとつたのである  
う。

・四十三年。与板小五か年計  
画が立てられ、「主体的に  
追求する子どもづくり」の  
教育が始まった。

・四十六年。主的な学びと  
運動を間仕切りし、教室に転  
用して学習をする。

・四十五年。三年間の研究を  
まとめて、中間発表会を開く。  
学習を自らの手で進め  
ていく姿に、賞讃を得た。

・四十四年。中校舎撤去。東  
運を間仕切りし、教室に転  
用して学習をする。

たのである。

巣立つ子等のこの六年間の  
成長は、学校教育だけによる  
ものではない。はぐくみ育て  
た家庭や地域の方々の努力と  
与板の教育風土とが相ま  
りの中に、人間的な暖かさ  
教育が始まった。

・四十六年。主的な学びと  
運動の中から、このよ

うな主体性を学びとつ  
て進んで調べることを好  
み、「アイデアを出し  
て全校をリードす  
る」よき上級生に成長  
した。この子等のもつ  
可能性が、授業や日常  
活動の中から、このよ

うな可能性をもつ、百十  
五名の子ども達が、六年間で  
学んだものの基盤に立つて、  
さらに健やかに伸びていくこ  
とを心から望んでいる。

多くの可能性をもつ、百十  
五名の子ども達が、六年間で  
成長は、学校教育だけによる  
ものではない。はぐくみ育て  
た家庭や地域の方々の努力と  
与板の教育風土とが相ま  
りの中に、人間的な暖かさ  
教育が始まった。

・四十五年。三年間の研究を  
まとめて、中間発表会を開く。  
学習を自らの手で進め  
ていく姿に、賞讃を得た。

たのである。

・四十四年。中校舎撤去。東  
運を間仕切りし、教室に転  
用して学習をする。

たのである。

・四十六年。主的な学びと  
運動の中から、このよ

うな主体性を学びとつ  
て進んで調べることを好  
み、「アイデアを出し  
て全校をリードす  
る」よき上級生に成長  
した。この子等のもつ  
可能性が、授業や日常  
活動の中から、このよ

うな可能性をもつ、百十  
五名の子ども達が、六年間で  
成長は、学校教育だけによる  
ものではない。はぐくみ育て  
た家庭や地域の方々の努力と  
与板の教育風土とが相ま  
りの中に、人間的な暖かさ  
教育が始まった。

・四十五年。三年間の研究を  
まとめて、中間発表会を開く。  
学習を自らの手で進め  
ていく姿に、賞讃を得た。

たのである。

・四十四年。中校舎撤去。東  
運を間仕切りし、教室に転  
用して学習をする。

たのである。

・四十六年。主的な学びと  
運動の中から、このよ

うな可能性をもつ、百十  
五名の子ども達が、六年間で  
成長は、学校教育だけによる  
ものではない。はぐくみ育て  
た家庭や地域の方々の努力と  
与板の教育風土とが相ま  
りの中に、人間的な暖かさ  
教育が始まった。

・四十五年。三年間の研究を  
まとめて、中間発表会を開く。  
学習を自らの手で進め  
ていく姿に、賞讃を得た。

たのである。

・四十四年。中校舎撤去。東  
運を間仕切りし、教室に転  
用して学習をする。

たのである。

・四十六年。主的な学びと  
運動の中から、このよ

うな可能性をもつ、百十  
五名の子ども達が、六年間で  
成長は、学校教育だけによる  
ものではない。はぐくみ育て  
た家庭や地域の方々の努力と  
与板の教育風土とが相ま  
りの中に、人間的な暖かさ  
教育が始まった。

・四十五年。三年間の研究を  
まとめて、中間発表会を開く。  
学習を自らの手で進め  
ていく姿に、賞讃を得た。

たのである。

・四十四年。中校舎撤去。東  
運を間仕切りし、教室に転  
用して学習をする。

たのである。

・四十六年。主的な学びと  
運動の中から、このよ

うな可能性をもつ、百十  
五名の子ども達が、六年間で  
成長は、学校教育だけによる  
ものではない。はぐくみ育て  
た家庭や地域の方々の努力と  
与板の教育風土とが相ま  
りの中に、人間的な暖かさ  
教育が始まった。

・四十五年。三年間の研究を  
まとめて、中間発表会を開く。  
学習を自らの手で進め  
ていく姿に、賞讃を得た。

たのである。

・四十四年。中校舎撤去。東  
運を間仕切りし、教室に転  
用して学習をする。

たのである。

・四十六年。主的な学びと  
運動の中から、このよ

うな可能性をもつ、百十  
五名の子ども達が、六年間で  
成長は、学校教育だけによる  
ものではない。はぐくみ育て  
た家庭や地域の方々の努力と  
与板の教育風土とが相ま  
りの中に、人間的な暖かさ  
教育が始まった。

・四十五年。三年間の研究を  
まとめて、中間発表会を開く。  
学習を自らの手で進め  
ていく姿に、賞讃を得た。

たのである。

・四十四年。中校舎撤去。東  
運を間仕切りし、教室に転  
用して学習をする。



よいた町だより

昭和四十七年度

3. 10 発行

日本赤十字社は、人道博愛

の精神に則り、災害救護や血

液事業など人命の尊重・苦痛

の軽減と世界平和に貢献する

ことを使命として活動を続け

ております。

新潟県支部もこの使命を達

成するために本社指定の事業

は、すくと今年から県

及び市町村と共同の事業とし

て「児童を交通事故から守る

ため新入学児童全員に黄色い

安全帽を無償交付」するなど

命を助けてもらつた、礼金が

益々高額になるのではないかと

しようか。町ぐるみの「献血友の会」

が一日も早くできることを希

望します。

店主 S.S.

回答

献血について、日頃格別

のご協力を賜わり、深く感謝

いたします。

献血とは、国民がお互に

助け合いの精神によつて無償

で、輸血を必要とする人のた

めに血液を出し合つて、また、

献血した人が不幸にして輸血

が必要となつたときは、健康

な献血の保存血液をもらうこ

とができます。

◎今年の採血車、ゆうあい

号" 来町日程について

第一回 七月二十八日

第二回 十月七日

に決定されましたので、ご協

力をお願い申し上げます。

この運動とは、「本来赤十  
字社員は個人毎に加入して頂  
くものですが、最少限のメド  
として一世帯に一人程度の加  
入」を目的としております。

どうか、本年も社費のご納

入をいただきたくお願ひいた  
いです。

教師は、卒業生と道で会つた  
り同級会などで会つた時まず  
入をいたさずとも、まだ社員に  
加入されていない家庭にお

ども、本年も社費のご納

入をいたさずとも、まだ社員に  
加入されていない家庭にお

さて、私もそだが大方の  
教員は、卒業生と道で会つた  
り同級会などで会つた時まず  
入をいたさずとも、まだ社員に  
加入されていない家庭にお

ども、本年も社費のご納

入をいたさずとも、まだ社員に  
加入されていない家庭にお

&lt;p